



第244号

祝 二十歳おめでとうございます

祝 二十歳おめでとう
令和8年 やさか地区二十歳の集い



写真提供: フォトスタジオ ヨコヒラ様

1月11日(日)、平成17年度生まれの、新たに二十歳を迎えたやさか地区の皆さん44名の内39名が坂下公民館に集まり「令和8年 やさか地区二十歳の集い」が行われました。

来賓祝辞に始まり、二十歳の皆さん一人ずつ現在の自分を紹介するスピーチや、代表者による謝辞が行われました。二十歳の皆さんからは、20年間育ててもらった感謝、将来への決意などが語られました。式典終了後には、久しぶりに会った友達たちと近況を報告し合うなど、思い出話に花を咲かせていました。

午後からは、東美濃ふれあいセンターで「令和8年 中津川市二十歳の集い」が開催され、やさか地区の二十歳の皆さんも参加しました。

サンタさん、トナカイさん プレゼントありがとう！

12月23日(火)、美濃坂下ライオンズクラブの皆さんが、やさかこども園恒例の「クリスマス会」で、サンタクロースとトナカイの姿になり、お菓子とお餅のプレゼントを全園児一人一人に手渡されました。

園児からは笑顔で「ありがとう」の言葉がありました。



令和8年 元旦走り初め 新春イキイキ健康ウォーキング開催

1月1日(木・祝) やさかイキイキ倶楽部の主催で、『新春イキイキ健康ウォーキング』が開催されました。

当日は、好天に恵まれ、112名の参加者がありました。

宮の前農村公園をスタート・ゴール地点とし、新年の日差しを浴びながら、走り初めを楽しんでいました。

+ カ シ タ イ ル ミ

JR 坂下駅前のイルミネーションは、今年で6年目になります。

坂下まちづくり協議会とチャームメイツの協力のもと、坂下中学校、坂下高校地域探究科未来共生コース2年生がペットボトルを集めて色をつけ、坂高生が飾り付けました。

今年は3月初旬まで坂下地区の玄関口を美しい光で彩ってくれます。



桜の湖自然公園駐車場の一部を整備していただきました

毎年多くの来場者で賑わう「桜の湖そばの花まつり」で利用する桜の湖自然公園駐車場が、近年の豪雨によりぬかるみが酷く、訪れる来場者の車両がはまり込む事例が頻発したことから、地元の(株)上野産業(糸魚川信二社長)がぬかるみ養生のため、自社の保有するダンプカー6台分の砂利・碎石をご寄付下さいました。

また、ご寄付をいただきました砂利・碎石は、坂下建設(株)(安江貞夫社長)のご厚意により、整地及び転圧を施していただきました。

株式会社上野産業様、坂下建設株式会社様、ありがとうございました。



見に来てください！「やさかじまんカルタ」

山口・坂下・川上地域の小・中学生が地元の「すてき」を集め、カルタにしました。

今回で6回目の開催で、下記会場で展示します。

お問い合わせ：坂下公民館 ☎ 75-3115

場 所	期 間	内 容
ショッピングセンター サラ	1月30日(金)～2月5日(木)	中学生の部
	2月 6日(金)～ 12日(木)	小学校高学年の部
	2月13日(金)～ 19日(木)	小学校低学年の部
坂下公民館ロビー	2月 6日(金)～ 12日(木)	小学校低学年の部
	2月13日(金)～ 19日(木)	小学校高学年の部

※2月4日(水)・18日(水)は、サラ定休日です。

区長会通信

坂下地区の皆さんへ

日頃は、区長会活動へのご理解、ご協力を頂き、ありがとうございます。

今回は令和7年11月28日(金)に、道の駅きりら坂下で行われました、『やさか地区区長会合同研修会』の報告と、『冬季の交通事故防止対応のお願い』です。

令和7年度やさか地区区長会合同研修会について

この研修会は、やさか地区の区長、まちづくり協議会などが集まり、地区における重要課題について見識を深めると共に、各地域の取り組みについて共有を図るもので、毎年開催しております。

出席者：山口、坂下、川上3地区の区長及び、まちづくり協議会3役、地元選出の県議会議員、市議会議員、各総合事務所の所長

坂下区長会からは以下の活動について報告しました。

- ①安心：地域防災力向上の為に地域自主防災会規約(雛形)の作成及び展開。
- ②健康：必要な地域医療確保(坂下診療所存続検討)の為、市医療福祉部との合同会議の継続実施。
- ③魅力：地域資源・伝統文化行事を活かしたイベント支援活動について。

やさか地区全域における、冬季の交通事故防止対応のお願い

冬季は積雪、路面凍結などの厳しい道路条件が重なります。この様な条件に対応する心構えとして【急】の付く操作を避ける運転を心掛けましょう。

急発進！ 急ブレーキ！ 急ハンドル！ 急加速！

今後とも、ご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

郷土文化財紹介

＜坂下の養蚕・蚕種・製糸業 その7＞～製糸業1～

繭の中の蛾が繭を食い破って外に出る前に生糸にしないと、糸は切れ切れになってしまふので、早く製糸作業「糸引き・糸挽き」を行う必要があります。

坂下地区でも明治14年の記録(平成版坂下町史(以下『町史』))「水車利用の製糸業」によると、濃恵社第2局(50人繭)をはじめ、松源地、西方寺、新田(いずれも5人繭で小規模)に生糸を生産する製糸工場がありました。

その後工場の数は増えて、明治26年には『町史』の「坂下村生糸工場一覧表」によると、古谷市三郎(明治20年創業、30釜、従業員80人、1ヶ年製造額800万円)を筆頭に、大小14の工場がありました。規模の大きな工場ではボイラーを設置し蒸気で繭を煮たり乾燥させたりしていました。小規模な工場では「火氣」とありますから火を焚いていたようです。糸を巻き取る動力には「水力」と記されているので、水車を利用していました。

『町史』の明治29年「製糸工場表」によると、古谷製糸場は釜数50、工女の数50、繰湯・蒸気、運転・汽力、1ヶ年繭使用高3050石、等とあります。元の製糸場は、釜数20、工女の数20、繰湯・焚火、運転・水力、1ヶ年繭使用高1022石、等とあり増加しています。

生糸の海外輸出が盛んになり、明治31年には中津川で合名会社勝野商店が大規模な機械製糸工場(400釜、職工500人で発足)を興し、明治45年には更に拡大し(1022釜、職工1230人)、当時岐阜県内最大規模となりました。



↑ 恵那繭糸の乾繭倉庫(3階建)

坂下の工場では座繰製糸(器械製糸)で、勝野の機械製糸場とは生産性において雲泥の差がありました。

郷土文化財保存会会員

たぐちのりいち
田口憲一

『町史』の「最盛期の製糸業者(大正期)」によると、握(2)、西方寺(3)、島平(4)、本町(1)、時鐘(2)、矢渕(1)、上外(2)、下外(1)と16もの工場が操業していました。いずれもボイラーで操業。従業員の総数は425人で、坂下での製糸業全盛期だったのです。



↑『町史』より「坂下の製糸場」
上新屋の製糸場 下左 進隆社 下右 濃信社

『町史』に「吉村製糸工場就業規則」があるので見てみましょう。雇い入れる条件は14歳以上、12歳以上で義務教育を終えた者。就業時間は午前6時～午後6時まで。休憩時間は午前7時より25分間(この間に朝食)、正午より35分間(この間に昼食)、午後3時より15分間。休日は第1・第3日曜日、盆2日、地方例祭2日。給料は職種・男女で違い、概ね男で60銭～1円70銭、女で30銭～1円50銭。出来高払いと、様々な査定があり、皆勤賞・盆賞・年末賞・勤続賞・特別賞等がありました。

これを見ると、当時の労働者は長時間過密労働、男女差別など、現在では考えられない程劣悪な状態におかれていたのです。“ブラック”ですね。著名な『女工哀史』『あゝ野麦峠』の世界そのものです。こうした状況は坂下だけでなく近隣町村はもとより、全国で同様なことがありました。明治末の女子労働者が次の歌を残しています。

男軍人 女は工女 糸をひくのも國のため

日清・日露戦争に駆り出された男、軍事費を稼いだ娘たちをよく表わしています。



坂下高校 賢・剛・優



地域探究科による 地域連携活動

12月11日(木)、地域探究科2年生のコースの日がありました。進学コースは個人探究の深掘りをするために中津川市役所や関連機関で聞き取り調査し、看護コースは看護への学びを深めるために中津川市民病院の見学にかけました。未来共生コースは後期デュアルシステムの8回目となる企業実習に出かけました。保育コースは保育への学びを深めるために坂下地区にある「やさかこども園」で保育実習を体験しました。調理・製菓コースは本校に専門学校から外部講師を招いて、クリスマスケーキ作りに挑戦しました。コースごとに専門的な学びを深めるための学習を通して、充実した1日を過ごすことができました。

坂下小学校 ひとりだち

終業式

12月26日(金)、2学期の終業式を行いました。

児童代表の話では、2年生の片桐結那さんが「大きな声で歌うことをがんばった。3学期は文を書くことをがんばりたい」と話し、4年生の前田紗余さんは「2学期は漢字をがんばった。3学期は読書をがんばりたい」とそれぞれの2学期のがんばりと冬休み明けの3学期の目標を堂々と話しました。校長先生と生徒指導の先生からは冬休みの安全な過ごし方や新年を迎える心構えについてお話をありました。1年を締めくくる会にふさわしい、真剣に話を聞く子ども達の素晴らしい姿がありました。



《2月の主な行事》

日	曜日	行事名	時間	場所
5	木	いきいき元氣教室	13:30~14:30	坂下公民館
18	水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
25	水	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
27	金	おはなしの会	10:00~11:00	坂下公民館
		やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	

市・県民税申告受付のお知らせ

日にち :

3月 12日(木)・13日(金)・16日(月)

時 間 : 9時~12時、13時~15時

場 所 : 坂下総合事務所

本庁舎1階申告会場

★申告に関する詳細や、坂下以外の受付会場については、広報なかつがわ2月号をご確認ください。

★例年、午前中は大変混みあいますので、時間に余裕を持ってお出かけください。

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日
燃えないごみ	4日(水)
大型ごみ	13日(金)
資源・硬質ごみ	18日(水)
有害ごみ	収集ありません

人口と世帯数(令和8年1月1日現在)

人口	3,847人
	(前月比5人減)
男	1,865人
女	1,982人
世帯数	1,599世帯
	(前月比1世帯減)

坂下中学校

超升先輩

全校で楽しんだ 球技大会

12月中旬、生徒会が企画して球技大会を行いました。今年は、美濃坂下ライオンズクラブ様よりいただいたご寄付を活用して、生徒からの要望が多かったバドミントン用具やバレー・サッカーボールなどを購入しました。その中に、初めて購入した「モルック」があります。「モルック」は、フィンランド発祥のニュースポーツで、木製の棒「モルック」を投げて、番号が書かれた12本の木製ピン「スキットル」を倒し、先に合計50点ちょうどを目指すゲームです。上手く倒せると、まわりに笑顔が広がります。心と体が温まるひとときを過ごすことができました。



やさかこども園 かがやく瞳

クリスマス会

12月18日(木)、クリスマス会を行いました。各学年の発表は、0・1歳児の踊りから始まり、2歳児はダンス、3歳児は手作りのマラカスを鳴らしながら歌い、4歳児は劇、5歳児は様々な楽器を使用して合奏をしました。それぞれの発達に合わせた発表を考え、この日を楽しみに練習してきました。発表を見る側も楽しそうでした。クリスマス会を進めていたところへサンタさんが登場し、子ども達の目がサンタさんに釘付けになりました。サンタさんは皆からの質問に答え、元気な子ども達にとプレゼントをくれました。サンタさんに会えて、嬉しそうな子ども達でした。



慶弔のお知らせ

12月11日から1月10日

坂下総合事務所への届出分

(敬称略)

○ご誕生

性別 (保護者名)

かまだ 鎌田 なぎ 女 (征希) 大門

●ご逝去

はたなか 畑中 うたこ 歌子	(92歳)	中之垣外
いとう 伊藤 よしのり 義則	(82歳)	握
たけかわ 武川 ゆめよ ゆめよ	(86歳)	上野
うえこうじ 小路 すみこ 澄子	(98歳)	松原地
はら原 くに クニ	(104歳)	矢渕
よしおか 吉岡 みのる 稔	(93歳)	新田

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話 0573-75-2111

FAX 0573-75-4704

Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp